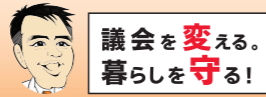


夏は暑い! 議場も熱い! 「保育行政のあるべき姿」について、 市議会で徹底討論!!

今日も! 胸を張って、元気よく!! 福岡市議会議員 田中しんすけ

議会通信 第24号 2013年 夏号

発行者: 福岡市議会議員 田中しんすけ
〒810-0014 (民主・市民クラブ)
福岡市中央区平尾2-3-21 城戸ビル201
TEL 092-521-3650 FAX 092-521-5221
URL: http://www.tanakashinsuke.jp
E-mail: info@tanakashinsuke.jp



議会を変える。
暮らしを守る!



日本列島を覆う連日の猛暑。この福岡市も例外なく厳しい暑さが続いています。いかがお過ごしでしょうか?先日開催された「中央区ソフトバレーボール大会」では田中しんすけも選手として出場しましたが、体内の水分が不足していたのでしょうか、試合後に足の筋肉がつるといふ経験をしました。みなさんも毎日しっかりと水分補給を行ないながら、日々の体調管理にお気を付け下さい。今回の議会通信では、先に開催された福岡市議会6月定例会における「議案質疑」と「一般質問」の内容を中心にレポートします。

6月定例会 一般質問 高島市長に問う! 「今一度、立ち止まって移転計画の再考を」

～中央保育園の移転計画を検証～

多くの市民の「疑問の声」に応える

移転予定地の取得については、この春の予算審議で議会としては同意しているところではあります。しかし、園児の保護者の方々をはじめ、多くの市民の皆さまの厳しいご意見に耳を傾けるにつけ、わが会派としてはこれまで十分なチェック機能を果たせなかったことについて、率直に反省すべきと思っています。このような前提で、「移転予定地の選定プロセス」や「議会への情報提供」が適切であったのかという点に絞って質問しました。

不安を拭い去れない「事業計画」

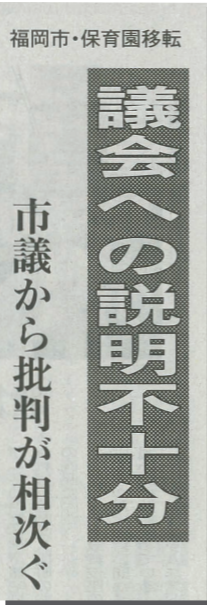
まず「移転予定地の選定プロセス」について質したところ、「予定候補地を6か所選定し、定員拡充の可能性、早期の取得可能性といった判断基準で最終的な候補地を決めた」との答弁がなされましたが、**地権者へのヒアリングや土地価格についての比較は全くなされていなかったことが明らかになりました。**また、これまでも課題として指摘されてきた「**狭隘な前面道路における安全対策**」、「**園児たちの避難経路の確保**」についても「今後検討する」という答弁に留まり、**園児の安全確保に向けた具体的な対処策が現時点で固まっていなかったことも露呈しました。**

丁寧さを欠いた「事業の進め方」

そもそも、中央保育園の移転候補地について初めて議会に報告されたのは、平成24年6月議会における第2委員会でのことでした。しかし、この際には「移転予定地と面積についての報告のみで、**選定における経緯などのプロセスや周辺環境(近隣に風俗施設があること)については報告されなかった**」ことが今回の質問で明らか。このように議会への情報提供が不十分だったことに加えて、本市の園や保護者に対してしっかりと向き合っただけで済んだことを挙げ、「**今回の問題を大きくした原因は、丁寧さを欠いた本市の強引な事業の進め方にある**」点を厳しく指摘しました。

問われる「保育行政のあり方」

今回の質問ではっきりしたことは、これまでの本市の保育行政にかかる考え方を聞くにつけ、「**待機児童(数)の解消を至上命題に据えるあまりに、望ましい保育環境を確保するという視点がスッポリと抜け落ちて**いる」ということです。中央保育園の現在の定員は150名で、これを倍の300名に拡充するためには今よりも広い土地が必要だ、という点が市の言い分。「**待機児童の解消**」は本市が解決すべき喫緊の課題であることは理解できますが、**そのためであれば保育環境を犠牲にしてもよいのでしょうか。本末転倒だと言わざるを得ません。**これまで高島市長が、保護者や保育士の面会要請を断り続けていることに対して「**政治姿勢に問題がある**」と厳しく指弾するとともに、中央保育園の移転計画については、これまでの整備方針や移転先予定地が本当に適切だったのか、いま一度「**立ち止まって再考する**」必要性を市長に訴えました。



▲西日本新聞朝刊(2013.06.27付)

保育園移転問題 保護者面会に応じない考え 高島市長 福岡市、市が進める中央区今泉の認可保育園「中央保育園」の移転計画について、同園児の保護者が求めていた市長面会について「しっかりと担当部局が話をうかがって、できる限りの対応を行う」と述べ、面談に臨む考えを示した。市議会では、市議長の面会を提出し、高島市長が「市議会(民主)で中核市議(民主)の一般質問に答えた」と答えた。 現在入居する中央区市立中央児童会館から、約200名離れた場所に移転する。裏手にパチンコ店、半信00以内のラブホテルがあり、ガードレールのない幅5.5mの狭い道路が通る。 路になる。 「いま一度立ち止まって、保護者などの意見を傾けるべきはどうか」とした田中市長に対し、吉村優子市長は「保護者や市民の安全を取り除く対応はできなかった」と一言。田中市長は「保護者や市民の安全を取り除く対応はできなかった」と一言。田中市長は「保護者や市民の安全を取り除く対応はできなかった」と一言。

西日本新聞朝刊 (2013.06.26付)

議案第119号 「屋台基本条例案」および 議案第120号 「市職員給与の特例に関する条例案」について 質疑を行いました。

田中しんすけは、6月議会においては議案質疑も担当しました。まず、屋台基本条例については、『屋台の適正化』および『屋台の効用活用』を実現するためには、実効性のある体制づくりが不可欠であり、**具体的な指導権限を持たない経済観光文化局の所管では指導に限界があるのではないかと指摘**しました。また、市職員給与に関しては、国が地方交付税を利用して、地方公務員給与を一方的に下げるといふやり方を非難するとともに、「**地方のことは地方で決める**」という原則を国に守らせるよう、高島市長に対して強く要請しました。



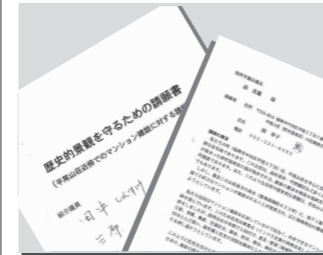
▲屋台の適正化は実現するか?(福岡市博多区)

6月定例会 議案質疑

中央区で頻発! マンション紛争 地域活動 住みやすい街をつくるため 私たちにできること

平尾で続発するマンション建築紛争

これまでの議員活動の中で一番多く受けてきた市政相談の内容、それがこのマンション建築に関するものです。この平尾エリアだけでも、昨年に続いて今年6月議会にマンション建築に対する請願が提出されました。「**隣の更地にいきなりマンション建設を知らせる看板が立てられて...**」多くのマンション建築紛争は、このように近隣住民にとっ



▲マンション建設に対する請願文書

てはまさに「青天の霹靂」という状況で自身の生活に降りかかってきます。そして、ほとんどのケースで地域住民側にとって納得のいかないまま、粛々とマンションの建設が進んでいきます。その理由は、「**地域住民や周辺環境に配慮すること**」が法律や条例でしっかりと担保されていないからです。

地域まちづくりは 市民全体で共有すべき課題

このようなマンション紛争を予防するために必要な取り組みのひとつは、**地域住民が主体となって地区計画や建築協定といった「まちづくりのルール」を事前に決めておく**ことです。現在の快適な住環境を今後も守っていくために、あらかじめ建築物に関するルールを取り決めておくことは非常に有効な手法です。

もう一つは、**周辺環境に配慮した建築ルールを定めた本市独自の条例を制定すること**。本市では「**建築紛争の予防と調整に関する条例**」が制定・運用されていますが、マンション建築紛争にかかわったことがある市民からは「**実質的に機能していない**」という指摘がなされています。周辺環境に配慮した建築物の高さ規制、住民説明会の在り方等を規定した新たな条例の制定が求められています。



▲地域まちづくり手引書(福岡市)

海江田万里・民主党代表と 学生ミーティングを開催しました!

定期的にお伝えしている県連学生部リユーズの活動ですが、今季から新たな代表の下での取り組みがスタートしました。5月25日(土)、県連学生部が企画した大学生限定の意見交換会が開催されました。ゲストとしてお招きした海江田万里・民主党代表と、集まった学生たちとの間でざっばらんな質疑応答が展開されました。

「アベノミクスはこれからどうなるか?」との問いには「**株や為替など金融のみでは長続きしない**」とコメント。

「20代のうちしておくことは?」との質問には「**本をたくさん読んで、運動する習慣をつけること**」だと回答しました。他にも「**総理になったら何をやるか?」「尊敬する人は?」**などたくさんの質問が寄せられ、活発な意見交換会となりました。



▲学生の質問に答える海江田代表

田中しんすけ 市政相談承ります! お気軽に ご連絡下さい!!
521-3650
田中しんすけ 昭和53年6月14日生まれ(35歳)

| | | | | | |
|-------|---------|----|-------|-------------|---------------|
| 1991年 | 西高宮小学校 | 卒業 | 2004年 | 早稲田大学大学院 | 政治学研究科修士課程 修了 |
| 1994年 | 西南学院中学校 | 卒業 | 同年 | アクセンチュア株式会社 | 入社 |
| 1997年 | 筑紫丘高等学校 | 卒業 | 2007年 | 福岡市議会議員(1期) | |
| 2001年 | 九州大学法学部 | 卒業 | 2011年 | 福岡市議会議員(2期) | |